

きいて・めもして・こたえよう

こうがくねん 小学
まへ 前
せんせい はなし 先生の話
高学年に なる前に (先生の話)

なまえ
名前

きこ 聞くめあて
せんせい 先生
たいせつ 大切な
こと こと
みつ 三つのこと
りゆう 理由
わ を
分けてメモしましょう。

ことば 言葉
たいせつ 大切な
りゆう 理由
すうじ 数字
おとさない言葉：大切なこと・理由・数字

ほうそう 放送
お 終わった
ひら 開いて
もんだい 問題に
こた 答え
しょう しよう。

(1) せんせい 先生が、こうがくねん 高学年になるみなさんに、たいせつ 大切にしてほしいことは、いくつありましたか。

(2) 「ひと 一人」で、せんせい 先生が話したことはなん 何ですか。

(3) 「二つめ 二つ目」の、自分で考えて動くとは、どういうことですか。○をつけましょう。

ア せんせい 先生に言われたことだけをやる

イ いま 今、何をすればよいかを自分で考えて行動する

ウ とも 友だちのまねをする

(4) こうがくねん 高学年になることについて、せんせい 先生に聞いてみたいことを、ひとつ「しつもの文 文」で書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

みなさんは、あと少して、五年生になります。五年生からは、学校の「高学年」です。今日は、高学年になるみなさんに、先生から、大切にしてほしいことを、三つ、話します。

一つ目は、下の学年の、お手本になることです。一年生は、みなさんのことを、よく見えています。ろうかを、右がわ歩いたり、あいさつをしたりする、その一つ一つが、下の学年の、手本になるのです。

二つ目は、自分で考えて、動くことです。「先生に言われたからやる」のではなく、「今、何をすればよいか」を、自分で考えて、行動できる人に、なってほしいのです。それが、高学年の力です。

三つ目は、新しいことに、挑戦することです。委員会やクラブ、学校の行事で、リーダーをまかされることも、ふえます。しっぴいをおそれず、いろいろなことに、挑戦してみてください。みなさんの活やくを、楽しみにしています。

メモのれい

高学年になる前に（先生の話）大切なこと三つ

- ①下の学年のお手本になる（一年生はよく見ている）
- ②自分で考えて動く（今何をすべきか）＝高学年の力
- ③新しいことに挑戦（委員会・クラブ・行事のリーダー）

こたえと かいせつ

（1）三つ

「大切にしてほしいことを、三つ、話します」と言っていました。

（2）下の学年の、お手本になること

「一つ目は、下の学年の、お手本になることです」の部分です。

（3）イ（今、何をすればよいかを自分で考えて行動する）

『「今、何をすればよいか」を、自分で考えて、行動できる人に」と言っていました。

（4）（例）リーダーになるのが、少し心配です。どうすればよいですか。
／委員会は、どんな仕事がありますか。

高学年になることに関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。